

6/30 火曜

# 海兵隊もた空中給油か

## 甲府市などの上空

米海兵隊が富士山西側の甲府市上空などを飛行して、危険な空中給油訓練を再び実施していく可能性があることが29日、甲府市の市議会で撮影され、各組の平和委員会の調査でわかつました。甲府市の福田良一さん（64）が28日正午ごろ、KOC-130Jが富士山西側を離陸した後に横田基地を離陸したと飛行する機体35機といふのが、機体28機（側面）からなる（詳細）。

れる機影を撮影しました。福田さんは、今年3月にも同市上空で午後1時30分に横田基地（山口真）配備のKC-130JからF35Bへの給油訓練を撮影していました。

競技トラック状の航跡で繰り返し飛行し、午後1時30分に横田基地（東京都）に着陸。横田基地の監視活動を続けていたる羽村平和委員会の写真を撮影した福田さんは「多くの人が暮らす陸地上空で、再び危険な飛行が繰り返されました」と怒りを覚えます。日本政府に聞いても『米軍に確認中』と認めません。米軍の立場に立っていて、国民の便を立てられない立場に立つていて、國民が「米軍が35機の戦闘機を飛行する事態を警戒してはいけない」と話しています。

回演習で米海兵隊F35Bが行った対地攻撃訓練で実施。住民・平和団体は「米軍に陸地の上空では実施しないことを確認している」とした2017年の防衛相のコメントに反する」と批判し申し出ています。

まつた。